

34.鳥取県中部地域公共交通再編実施計画

■赤碕線の経路地変更と減便

- 「青山剛昌ふるさと館」を経由することにより、観光移動の利便性を向上させる。
- 周辺の高校を経由するルートの新設することにより、琴浦町及び北栄町方面から当該学校への通学利便性を向上させる。
- 運行便数が多いことにより、経常欠損額が大きくなっているため、利用者数が少ない便を減便し、運行の効率化及び収支改善を図る

■穴鴨線、小河内線の短縮及び三朝町内のフィーダー化

- 三朝町～倉吉市間を運行している4路線(上井・三朝線、三朝線、穴鴨線、小河内線)の内、利用の少ない小河内線と穴鴨線を町内路線に見直す。但し、高校生の通学や通院に利用されている一部の便は従来通りの広域路線とする。見直した路線のうち、通学便は定時定路線の運行とし、それ以外については「ドアトゥドア型デマンド型乗合タクシー」又は「定時定路線バス」により対応する。

■倉吉市中心市街地通過路線の再編

- 北側路線の過密ダイヤを緩和が図られる。また、県立美術館(R6年度開館予定)、総合病院(厚生病院、野島病院)へのアクセス改善、観光地間(赤瓦・白壁土蔵群～倉吉パークスクエア間)の移動利便性向上につながる。

